

していただいて、文化センターを中心にした交流を促進させていきたいですね。矢吹町に住んでいますが、町民以外の方々にもこの町に来ていただいて矢吹町をよく知っていただき、交流を深めていきたいと考えています。また、一流の音楽家を呼ぶだけでなく、地元の子どもたちとの交流の機会をもってもらおう。それは将来的にも子どもたちの誇りとなっていくでしょうし、これから百年、矢吹町における文化的事業の発展の力になると思います。

奥川●私はボランティア「森の番人」のスタッフとして大池公園によく足を運んでいます。四季折々の素晴らしい景色のなか、秋には枯葉を使って焼きいもを作ったり、松ぼっくりでクリスマスリースを作るなど、子どもたちと一緒に楽しむながら交流を深めています。今後は子どもとの親御さんや兄弟姉妹も交えて活動を展開していきたいですね。こうした活動がもっと矢吹に暮らす人たちに広がっていくには、多様な輪が生まれるのではないかと思います。

大木●「やぶきペガサスクラブ」では、今後も研鑽活動を継続し



渡邊 正晃さん

カメラ店経営。御旗場構想推進協議会会長として「まじの里やぶき」をテーマにまちづくり、人づくりを進める。原生林が残る貴重な諏訪山を守りたい。



鈴木 啓子さん

主婦。本の読み聞かせボランティアおひさま、広報をテープ録音し目の不自由な方に届けるボランティアこだまに所属。矢吹は住みやすく楽しく活動ができる町。



幕田 耕郎町長

平成10年、第7代矢吹町長に就任。矢吹町の地の利を生かした産業振興を図り、教育、文化を柱に人づくりをめざす。町にたたくみ、矢吹の歴史に思いを馳せる。



国島 賢さん

建築士。みらい倶楽部代表。小池や羽鳥水路などワークショップ方式でまちづくりを進めている。根宿の観音山跡、旧街道のたたくみに矢吹の原風景をみる。

ながら地域づくり、まちづくりに積極的に関わっていきたくと思っています。メンバーにも積極的に町政に参加している方や、他団体で活躍している方もいます。これからも仲間と一緒に豊かな魅力あふれる矢吹町づくりを目指したいと考えています。

浦井●私の所属する「矢吹駅前まちなみ協議会」では元気の出るまちづくりをめざして活動しています。先日、皆様のご協力をいただいて「まちなみブック」という冊子も作成しました。矢吹駅と言えば矢吹の顔になりますので、矢吹町の情報発信地として、またあたたかい茶の問的な存在にしていきたいですね。

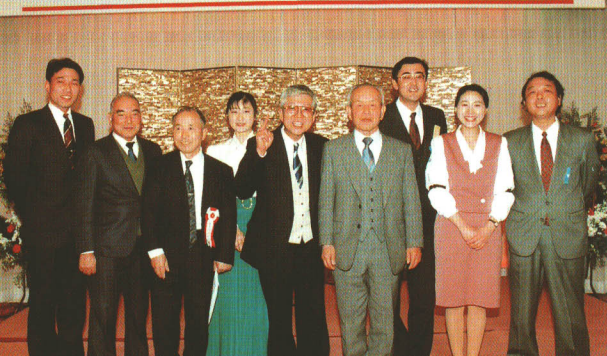
鈴木●私たちは読み聞かせの活動を行っていますが、子どもたちが少しでも豊かな心をもってくればと思いますし、「こだま」の活動では、目の不自由な方にもいち早く町の情報をわかるようになっているだけ嬉しく思います。今できることを精一杯やって将来に結びつけて、活動の幅を広げていきたいと思っています。

仲西●矢吹町には以前、飛行場があったというところで子どもたちに紙ひこうきづくりを教えています。

最近の子どもたちのなかには山折り、谷折りなどのルールを知らない子もいるようですから、これからは子どもたちとの交流を図っていききたいですね。また昭和三十年代に矢吹でロケを行った映画があるんですが、その上映を行ったり郷土愛を育んでいく機会を多く持ちたいと思っています。何事も楽しみながらやっていきたいですね。

町長●本日は「これからの百年豊かな矢吹町をめざして」というテーマで話をおうかがいしました。皆さんがそれぞれに活動している分野で、目の前にある課題に一生懸命取り組むことで、必ず皆さんの望む郷土の和ができて、豊かなまちづくりをめざすことができます。頼もしくお話を聞かせていただきました。町としても皆さんと一緒に、子育て支援はもちろん豊かな町民のまちづくり、暮らしづくりをめざして頑張ります。乗り越えなければならぬ課題も多いかと思いますが、将来の矢吹町のため、矢吹を担う子どもたちのために町民の皆さんが大きな輪となり、優れた文化活動、そしてまちづくりに励んでいただきたいと思います。

矢吹飛行場跡記念碑建立祝賀会



矢吹ふるさと塾がよみがえらせた矢吹町の史実

日本ふるさと塾の講演会をきっかけに旗揚げされた矢吹ふるさと塾。矢吹飛行場から飛び立った特攻隊員の遺品を遺族の元へ返還する事業を始めとし、矢吹航空隊を語る会の開催、矢吹飛行場跡記念碑建立など史実に基づくまちおこし活動は矢吹ふるさと塾から始まった。